



Tohoku University DRR Actions
Contributing to Global Disaster Resilience



東北大学ディスカッションツアー 01
東北大学の材料・通信の研究拠点を巡る
～産学官連携による世界最先端研究・技術の発信～



Tohoku University DRR Actions
Contributing to Global Disaster Resilience



東北大学 総務企画部広報課 社会連携推進室

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 Tel 022-217-5132 Fax 022-217-4818 E-mail social@bureau.tohoku.ac.jp

東北大学は被災地の中心にある総合大学として、東北復興・日本新生の先導に全学を挙げ取り組んでいます。

東北大学ディスカッションツアー 01

東北大学の材料・通信の研究拠点を巡る

～産学官連携による世界最先端研究・技術の発信～

日時：3/16(月)9:30 仙台国際センター出発 / 12:00 仙台国際センター解散

場所：東北大学 片平キャンパス

- ・電気通信研究所
- ・耐災害 ICT 研究センター
- ・産学連携先端材料研究開発センター

時間	種別	スポット	所在地
9:30	出発	仙台国際センター	仙台市
9:50	視察	東北大学 片平キャンパス	仙台市
↓		・電気通信研究所	
10:40		・耐災害 ICT 研究センター	
10:50	視察	・産学連携先端材料研究開発センター	仙台市
↓			
11:40			
12:00	解散	仙台国際センター	仙台市

【情報通信再構築プロジェクト】

東日本大震災で浮き彫りとなった「通信回線の途絶」、「情報収集不能」、「発信情報の不足」といった情報通信の問題を解決するため、電気通信研究機構を設立しました。災害に強い情報通信ネットワークの構築を実現することが使命とし、東北地方の情報通信・エレクトロニクス産業の発展、さらには、我が国における新しい産業創出、世界をリードする革新的研究開発に貢献することを目指しています。



【復興産学連携推進プロジェクト】

被災地東北の産業復興と日本の国際競争力強化や産業界からの要求に応えるため、物質材料研究において世界トップクラスの実績と伝統を誇る東北大学を代表する3つの附置研究所と大学本部、および産業界が連携した研究拠点です。研究テーマは、社会基盤材料、エレクトロニクス材料、エネルギー材料の3つの分野からなり、今回は、これらの中から代表的な研究成果を紹介します。

